

令和7年度

事業報告

社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会

(1101)法人運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	法人運営事業	法人運営全般	第1層(全市)
収入(円)	会費	寄附金	負担金収入	受取利息	その他の収入
	3,213,000	2,610,657	13,100	186,391	10,000
	雑収入	その他の活動収入			計
	366,806	8,144,295			14,544,249
支出(円)	人件費	事業費	事務費	助成金	
	7,354,485	1,007,859	795,891	500,000	
	施設整備等支出	その他の活動支出		当期資金収支差額	計
	272,600	884,505		3,728,909	14,544,249
事業概要	予算・決算・補正予算の決議、法人運営				
事業報告	①毎月収支報告書の提出 ②事業収入の安定化 ③事業経営の透明性の確保				
	理事会	日・出席人数	内容	日・出席人数	内容
		6月5日	令和6年度決算・事業報告、財産目録補正予算(第1次)給与規程、就業規則変更	12月8日	令和7年度補正予算(第3次)、給与規程
		理事11・監事1		理事10・監事2	
		6月20日	新役員選出	12月23日	副会長の選任
		理事13・監事2		理事13・監事2	
		9月12日	令和7年度補正予算(第2次)定款細則変更、基金運用	3月10日	補正予算(第4次)、令和8年度予算、事業計画
	理事10・監事2	理事10・監事2			
			3月30日	書面決議	
			理事13・監事2	事務局長就任	
	評議員会	日・出席人数	内容	日・出席人数	内容
		6月20日	令和6年度決算・事業報告、財産目録補正予算(第1次)	12月23日	令和7年度補正予算(第3次)・理事承認
		評議員18		評議員22 理事3	
		9月26日	令和7年度補正予算(第2次)	3月24日	令和7年度補正予算(第4次)・令和8年度予算
評議員16 理事3	評議員18 理事2				
内部監査:5月23日(決算監査) 12月2日(中間監査)					
役職員研修(ホワイトセミナー):12月11日・1月22日・2月26日 「小地域福祉活動計画の策定」福井県立大学 永井裕子 氏 職員研修:「社協の組織運営とこれからの社会福祉事業について」10/30					
R7振り返り	地域福祉活動計画の足掛かりとして、3回のホワイトセミナーを開き、10地区社協の小地域福祉活動計画の策定をおこなった。また、喫茶事業の経営、基金の運営について、別途委員会を開催し検討した。				

(1102)退職積立金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	退職積立金事業	退職積立金事業	第1層(全市)
収入(円)	各階層より	取崩し収入	積立基金預け金差益		計
	4,632,000	5,675,160	1,920,430		12,227,590
支出(円)	退職給付支出	退職手当差損	退職給付預け金		計
	7,595,590		4,632,000		12,227,590
事業概要	全国社会福祉協議会が運営する退職積立基金事業と契約加入し、退職金として積み立てている				
事業報告	全社協へ、退職金掛金を納付 総額 4, 632, 000円 退職給付積立基金預け金 53, 403, 850円 退職給付引当金 72, 450, 790円 1名退職				
R7振り返り	全国社会福祉協議会が運営する「全国社会福祉団体職員退職手当積立基金」に加入し、退職金の積み立てをおこなった。定年延長時の退職金の扱いについて				

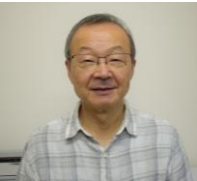
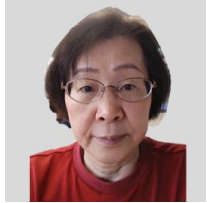
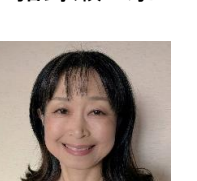
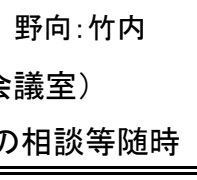
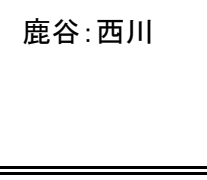
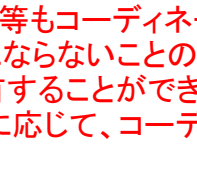
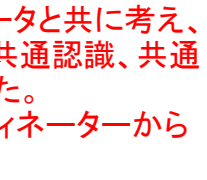
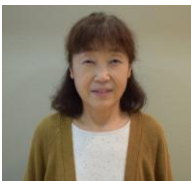
(1103)社会福祉事業基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	社会福祉事業基金運営事業	社会福祉事業基金運営	第1層(全市)
収入(円)	寄附金	受取利息	その他の活動収入		計
	19,615	456,450	405,612		881,677
支出(円)	社・基金積立金	法人運営事業へ	当期資金収支差額		計
	19,615	405,612	456,450		881,677
事業概要	社会福祉事業寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業報告	社会福祉事業基金 受入れ 4件 19,615円 合計 203,005,328円				
R7振り返り	基金の運営について、委員会を開き公債等への投資を模索した。				

(1104)ボランティア基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	ボランティア基金運営事業	ボランティア基金運営	第1層(全市)
収入(円)	受取利息				計
	10,846				10,846
支出(円)	法人運営事業へ	当期資金収支差額			計
		10,846			10,846
事業概要	ボランティア基金寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業報告	ボランティア基金 受入れ 0件 合計 8,725,201円				
R7振り返り	金利はあがってきたが、原資を増やしていない状態である。基金の有効的な利用について更に検討が必要。				

(1201)地区社協活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地区社協活動事業	地区社協事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市補助金				計
	4,620,000				4,620,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	154,000	51,000	4,415,000		4,620,000
事業概要	住み慣れた地域でいつまでも暮らすことを目的に、小地域での身近な福祉活動拠点としての役割を持ち、きめ細かな福祉を展開する				
事業報告	・地区社協コーディネーター会議 年間12回実施 コーディネーター会議の地区持ち回り制を導入				
	開催日	開催担当地区	開催場所	コーディネーター紹介(敬称略)	
	4月7日	市社協	すこやかホール		
	5月12日	北郷	北郷木下家		
	6月2日	荒土	まちづくり会館		
	7月7日	鹿谷	そら		
	8月4日	野向	コミュニティセンター		
	9月1日	遅羽	縄文の里		
	10月6日	勝山	caféいとか		
	11月4日	北谷	コミュニティセンター		
	12月1日	平泉寺	平泉寺のパン屋さん		
	1月5日	猪野瀬	こうみん館		
	2月2日	村岡	まちづくり会館		
	3月2日	市社協	すこやかホール		
					
	平泉寺:大林	荒土:谷口	北郷:松川	野向:竹内	鹿谷:西川
	・地区社協会長会 1回実施 (4/24 すこやか第1会議室)				
	・地域個別支援 ※地域課題への対応や研修、企画の相談等随時				
R7振り返り	地域個別支援では、各地域の事情や環境に合わせて研修会等の企画、運営支援や、地域での困りごと対応、また、地域課題への対応等もコーディネータと共に考え、事業を行った。地域課題は様々で、必ずしも横並びにならないことの共通認識、共通理解を個別支援やコーディネーター会議を通して共有することができた。福祉教育活動においても、学校ごとの取り組み内容に応じて、コーディネーターから地区社協の役割について話してもらう機会も設けた。ホワイトセミナー計3回を通して、小地域福祉活動計画を全10地区作成した。				

(1202)給食サービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																																																							
	法人運営事業	地域福祉推進事業	給食サービス事業	給食サービス	第3層（地区社協）																																																							
収入（円）	市受託金	利用者負担金			計																																																							
	3,316,320	1,316,000			4,632,320																																																							
支出（円）	人件費	事業費	助成金		計																																																							
	600,000	873,920	3,158,400		4,632,320																																																							
事業概要	65歳以上の①一人暮らし②高齢者のみの世帯③高齢者と障害者のみの世帯で調理が困難で見守りが必要な人に対し、各地区社協ごとに給食サービスを提供する																																																											
事業報告	<table><tr><th>地区</th><th>勝山</th><th>猪野瀬</th><th>平泉寺</th><th>村岡</th><th>野向</th><th>荒土</th><th>北郷</th><th>遅羽</th><th>鹿谷</th><th>北谷</th><th>合計</th></tr><tr><td>登録者数</td><td>104</td><td>8</td><td>10</td><td>36</td><td>21</td><td>18</td><td>10</td><td>16</td><td>8</td><td>2</td><td>233</td></tr><tr><td>回数</td><td>45</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>22</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>22</td><td>14</td><td>247</td></tr><tr><td>食数</td><td>2,439</td><td>177</td><td>234</td><td>803</td><td>444</td><td>393</td><td>215</td><td>360</td><td>172</td><td>27</td><td>5,264</td></tr></table>												地区	勝山	猪野瀬	平泉寺	村岡	野向	荒土	北郷	遅羽	鹿谷	北谷	合計	登録者数	104	8	10	36	21	18	10	16	8	2	233	回数	45	24	24	24	22	24	24	24	22	14	247	食数	2,439	177	234	803	444	393	215	360	172	27	5,264
	地区	勝山	猪野瀬	平泉寺	村岡	野向	荒土	北郷	遅羽	鹿谷	北谷	合計																																																
	登録者数	104	8	10	36	21	18	10	16	8	2	233																																																
	回数	45	24	24	24	22	24	24	24	22	14	247																																																
	食数	2,439	177	234	803	444	393	215	360	172	27	5,264																																																
・合計5,264食の配食を行った。弁当を配達することにより安否確認を行った。																																																												
・5/28「給食サービス関係者衛生講習会」開催 61名参加																																																												
・地域によっては、業者弁当を選択した地域もあった。																																																												
・野向地区で「給食サービスの利用」について民生委員や調理ボランティアに説明した。																																																												
R7振り返り	給食サービス利用の条件について、民生委員や調理ボランティアで解釈が曖昧な地域があり、説明会を行ったことで、共通理解が得られた。 調理ボランティアも高齢化しており、新たなボランティアを募集しているがなかなか活動してくれる方がおらず、ボランティア確保も課題とされる。 物価が高騰しており、各地区ごとに十分工夫されているが1食600円ではお弁当作りが大変だという地区や業者の声もあり、検討課題とされる。																																																											

(1204)地域福祉救援活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉救援活動事業	福祉救援活動事業	第1層(全市)
収入(円)	県共募補助金	共同募金	雑収入		計
		307,000			307,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	当期資金収支差額	計
	0	13,889	25,540	267,571	307,000
事業概要	災害に備えた物資の準備並びに研修への参加。また、災害発生時は災害対応のための資金調達や災害ボランティアセンターの立上げ・運営、さらには職員を現地に派遣する等を行う				
事業報告	●勝山市災害ボランティアセンター連絡会 2回開催(7/24、3/26) ●研修会の開催 今年度なし ●福井県社会福祉協議会主催 令和7年度「災害時の福祉支援体制づくりネットワーク会議」【奥越地区】に参加(3/12) 大野市、永平寺町、勝山市の行政や福祉関係、各種団体が集まり、災害初期における避難所内活動の相互理解や、関係づくりを行った。 ●令和6年度能登半島地震中間報告に参加(5/17) ●青年会議所主催「親子で学ぶ防災体験DAY」に参加協力(10/18) ●主任児童委員主催「サン・サンこども防災」協力(11/8) ●「災害時における相互協力に関する協定締結」 ・勝山ライオンズクラブ、勝山市、勝山市社会福祉協議会と「災害時における相互協力に関する協定」の締結(毎年自動更新) ・勝山青年会議所(JC)、勝山市、勝山市社会福祉協議会と「災害時における相互協力に関する協定」の締結(毎年自動更新)				
R7振り返り	勝山市災害ボランティアセンター連絡会にて、ガイドラインの見直しを行った。 福井県社協主催の、災害時の福祉支援体制づくりネットワーク会議では、災害時には市町だけではなく広域的な圏域で関係機関が連携することが求められるということで、近隣市町が災害発生時に迅速かつ効果的に福祉支援体制を構築できるよう、顔の見える関係づくりを図った。				

(1206)住民参加型在宅福祉サービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	住民参加型在宅福祉サービス	住民参加型在宅福祉サービス和美さん	第1層(全市)
収入(円)	事業収入	前期末支払資金残			計
	0	71,740			71,740
支出(円)	その他の活動支出				計
	71,740				71,740
事業概要	住民の相互扶助を推進することを目的に、サービスを有料制で行い、在宅福祉の増進を図る				
実績報告	協力会員	0	派遣延件数	0	
	利用会員	0	実働時間	0	
R7振り返り	事業終了につき、会計精算をおこなった				

(1207)地域ふれあいサロン事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地域ふれあいサロン事業	地域ふれあいサロン事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市受託金				計
	4,724,500				4,724,500
支出(円)	人件費	事業費	助成金	返還金	計
	450,000	324,000	3,592,500	358,000	4,724,500
事業概要	高齢者の生きがいや社会参加、健康づくり、閉じこもり防止を目的に集まれる場所の提供				
事業報告	各地区サロン実績				
		地区名	R7年回数(内補助金なし)	高齢者数(人)	R6年回数(内補助金なし)
	★	勝山	111回(2)	2,691	103回(4)
	★	猪野瀬	98回(38)	1,389	58回(1)
	★	平泉寺	67回(14)	576	62回(13)
	★	遅羽	68回(2)	622	74回(1)
	★	村岡	92回(2)	2,026	95回(5)
		北谷	11回(1)	151	10回
	★	野向	37回(5)	616	31回
		荒土	90回	1,103	93回
		北郷	97回(10)	1,238	98回
		鹿谷	49回(6)	743	39回
		合計	720回(80)	11,155	663回(24)
	・★は助成金なしのサロンを実施した地区 ・口腔ケア講座、レクリエーション講座(謝金は市社協負担)を各地区1回ずつ計20回開催				
R7振り返り	地区社協コーディネーターと市社協とで講師調整やサロン内容企画相談等で活動増や継続の後押しを行った。 補助金なしでのサロン開催に取り組んだ地区社協がR6年度は5地区だけだったが、今年度は6地区に増えた。				

(1208)日常生活自立支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	日常生活自立支援事業	日常生活自立支援事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金	利用料収入	貸金庫利用料	前期末支払資金残	計
	8,074,000	1,317,000	16,500	1,741,760	11,149,260
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	退職積立金
	9,960,478	440,482	37,300	0	711,000
					計
					11,149,260
事業概要	自立して地域で生活が送れるよう、福祉サービス利用、日常的な金銭管理などを支援				
事業報告	●相談件数等 ・相談件数 延1214件 (R6 2285件) ・契約件数 9件[認知症等4件、知的1件、精神4件] (R6 7件) ・成年後見制度への移行数 0件(R6 2件) ・総契約数 89件[認知症等40件、知的27件、精神10件、その他12件] (R6 91件) ●広報・啓発事業 ・社協からこんにちは(広報紙)に事業説明を掲載 勝山市内全戸(7,000部) ●生活支援員研修会(県社協主催) ・令和7年12月5日(木) 福井県社会福祉センター 3名参加 - 令和7年度 地域の支援交流研修会「自分で決める」を大切にする関わり方 ●生活支援員連絡会(市社協主催) ・事務連絡や情報交換会 2回開催(6月6日(金)9名参加、3月5日(木)6名参加) ●関係機関との連携 ・ふくい嶺北成年後見センター (フェニックスプラザ) ・奥越地区障害者自立支援協議会 発達障害・教育部会 (すこやか) ・障害者自立支援協議会相談支援連絡会 (すこやか・結とびあ) ・利用者別会議、モニタリング参加				
R7振り返り	今まで契約される方は高齢者の方が多い傾向であったが、知的障害・精神障害で若い方の相談・契約が増えたと感じた。先を見通した支援がさらに必要になってくると考えられる。それに伴い、他機関との連携も今以上に密にしていかなければならない。 関係機関と連携をとり、本人に必要なサービス(成年後見制度等)へつないでいった。独居や家族関係の希薄、地域からの孤立により、周りに頼ることができない方が多くなっており、サービスを超えた地域の支え合いの仕組みづくりや関係機関との連携が必要。次年度も継続していく。				



(1209)福祉総合相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉総合相談事業	福祉総合相談事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,508,000				1,508,000
支出(円)	人件費	事業費	その他の活動支出		計
	309,000	1,183,080	15,920		1,508,000
事業概要	法律、労働、年金の専門相談を実施。一般相談は職員が随時対応し、専門機関につなげる				
事業報告	●年金労務相談8件(前年度 17件) 【毎月第1水曜日9:00～13:00 年間12回開催】				
	●法律相談115件(前年度 100件) 【毎月第2水曜日(13:30～16:30)第4水曜日(9:00～13:00) 年間24回開催				
	●心配ごと相談85件(前年度 19件) 【月～金曜日平時の相談については職員が対応】				
	●夜間相談0件(前年度 0件) 【毎週水曜日18:00～20:00(要予約)】				
R7振り返り	心配ごと相談は常時職員が対応した。生活や家族、相続などの多問題相談が多く見られ、何度も相談される方もいた。適切な機関につなげることができた。				

(1211)家族介護支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	家族介護支援事業	家族介護支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金	過年度修正			計
	26,160				26,160
支出(円)	事業費	その他の活動支出	当期資金収支差額		計
	11,044	4,776	10,340		26,160
事業概要	介護の専門家を対象家庭に派遣し、介護の方法の指導や相談を行う				
事業報告	●依頼回数3回 ●内容 ・移動介助、室温調整、食事作り、排せつ介助、食事介助方法、着替え、ベッドの高さの ことについて(食事介助の際の高さ、姿勢、また体位を整えることを伝える) ・腰痛予防の介護の方法について				
R7振り返り	介護している家族に相談したい内容を事前に聞き(おむつの選び方、交換、衣類着脱、移動方法など)在宅に適切な支援を伝え、直接的なサポートができ、在宅介護の継続ができた。介護者の立場になり、安心して介護できるよう一緒に考えるとともに、訪問介護について知ってもらうなど、事業の周知に図る。				

(1212)訪問型サービスA事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	訪問型サービスA事業	訪問型サービスA事業	第1層(全市)
収入(円)	介護保険事業	利用料	前期末支払資金残		計
	55,510	6,222			61,732
支出(円)	人件費	事業費	当期資金収支差額		計
		33,904	27,828		61,732
事業概要	介護認定の対象とならないが、勝山市が家事の一部援助が必要と認めた方への必要な家事支援				
事業報告	買い物支援サービスのみの提供を行った。また、今年度で委託が終了するためシルバー人材センターへ引き継ぎをおこなった。				
		令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
	利用延べ人数	12名	12名	12名	12名
	述べ訪問回数	51回	51回	51回	51回
R7振り返り	訪問型サービスA事業については、令和8年3月をもって委託の終了となった				

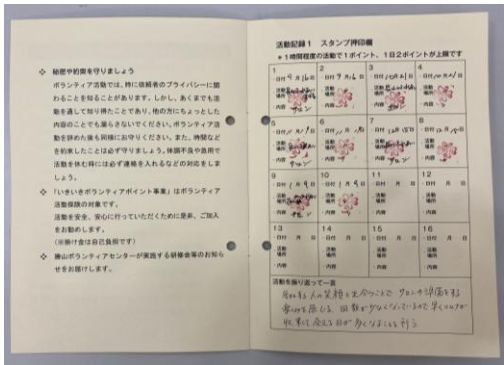
(1301)ボランティアセンター運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	ボランティアセンター事業	第1層(全市)
収入(円)	チャリティ映画収入	補助金収入	受取利息	雑収入	前期末資金残
	128,120	32,400	4,367	8,600	17,010
					計
					190,497
支出(円)	事業費	当期資金収支差額			計
	190,497				190,497
事業概要	ボランティアセンター運営委員会の運営。企画・広報部会の開催。ボランティア活動団体、個人を活動先とマッチングする。依頼・活動相談、保険の窓口となる。また、ボランティア育成のための研修を実施する。収集活動。				
事業報告	●ボランティアセンター運営委員会 5回(内、全体会3回、企画部会1回、広報部会1回) 【主な活動内容:福祉学習交流会、ボランティア研修会(アンケート実施)、ボランティア団体交流会、チャリティー映画会、すこやかフェスタ出店】 ●勝山ボランティアセンター広報活動 ①コドンストラップ【500個作成、残277個】 1コ1,000円で販売 ②コドンクリアファイル【3000枚作成、残1025枚】1枚100円で販売 ③コドンLINEスタンプ【1セット(40個)】120円で販売 ④コドンスタンプ作成(6種類)各小中学校にも活用してもらう ⑤コドンシール【5000枚作成、残3728枚】2枚1組100円で販売 ⑥コドン付箋【1000個作成、残403個】100円で販売 ・コドンかぶりもの作成 ・市民啓発推進事業 年6回「社協からこんにちは」紙上に情報掲載      ●ボランティア活動保険加入者 【基本プラン 350円】924名【天災プラン 500円】8名 合計932名 ●ボランティア相談・依頼 73件(内容:ゴミ出しボランティア依頼・調整、ボランティア団体活動調整、福祉避難所ボランティア相談、ボランティア保険申請相談、いきいきボランティアポイント相談 等) ●ボランティア研修会(18ページに掲載) ●ボランティア団体交流会(18ページに掲載) ●収集活動 [エコキャップ]福井テレビへ運搬 年6回 運搬数約594,000個(ワクチン約690人分) [使用済みカラープリンターインク]買い取り業者へ輸送した [ベルマーク]南部中学校の美術福祉部の生徒さんベルマーク仕分け協力 [使用済み切手、使用済みテレホンカード、未使用文房具]市社協窓口で回収し、誕生日ありがとう運動本部へ輸送した ●第40回チャリティー映画会「長いお別れ」12/6上映 <入場者数> 午前の部286名、午後の部111名 計397名				
R7振り返り	ボランティア活動保険も周知ができていたのか、加入者は増えている。ボランティア活動者が増えていると認識している。ゴミ出しボランティアなどの相談・依頼なども繋がっていた。しかし、ボランティアセンターの周知はもっと必要を感じている為、ボランティアセンター研修会の案内の送付時に一緒にボランティアセンターのチラシを同封した。				

(1302)預託配分事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	預託配分事業	第1層(全市)
収入(円)	寄附金				計
	159,256				159,256
支出(円)	助成金	当期資金収支差額			計
	22,000	137,256			159,256
事業概要	市民からの寄附金・物品の受入、払い出し。市内で火災が発生した際に見舞金を払い出す				
事業報告	●物品【預託】38件(介護用紙おむつ、パット、下着、衣類、米、食料品、トロミ粉、日用品(キッチンセット、ティッシュ、ゴミ袋、マスク、タオル、毛布、介護用シューズ、防水シート、洗剤他) ●物品【払い出し先】30件(介護保険事業所、ヘルパー事業所、介護保険施設、生活困窮者、生活保護受給者など) ●金銭預託(ボランティア運営事業へ) 2件 159,256円 ●火事見舞金 1件 5,000円 ●サンカフェ協力者へ 17,000円 ●次年度繰越金 繰越金3,188,446円+今年度預託金159,256円-払出22,000円=3,325,702円				
R7振り返り	通常の寄付物品もたくさんいただき、必要な方や事業所に払い出しをした。ボランティアグループの解散により、活動で得た収益をボランティアセンターに寄付とさせていただいた。				

(1305)地域いきいきボランティアポイント事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	地域いきいき ボランティアポイント事業	地域いきいき ボランティアポイント事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,571,000				1,571,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金	その他の活動支出	計
	1,287,500	156,428	121,500	5,572	1,571,000
事業概要	高齢者の社会参加や生きがいを促進するために、高齢者に関するボランティア活動をポイント制にし、集まったポイントを商品券などに換金する				
事業報告	【研修】 ●地域いきいきサポーター養成講座 R7.7.22(火) 参加者19名 内容:「生き生きとした日々を過ごしていくために」 講師:こころの森病院 寺澤 芳恵氏 ●地域いきいきサポーター養成講座 市民大学で公募 R7.11.18(火)参加者22名 講演:「ちょこっとボランティア入門～誰かのためがわたしのためになる～」 講師:福井県立大学看護福祉学部 社会福祉学科 准教授 永井裕子氏 【ポイント事業】 ●参加登録者数・・・男性／7名 女性／74名 合計／81名 ●ポイント引き換え者・・・64名 ●引き換え額・・・121,500円				
	  ●主な活動内容 介護保険施設での活動（縫製ボランティア、レクリエーション補助等） 各地区サロンでの活動（企画、運営、話し相手等） 認知症カフェでの活動（サンプルザ内:まちなかcafé、サン広場等） 近所や地区での活動（ゴミ出し、買い物支援等）				
R7振り返り	・令和8年度から、社会福祉協議会から勝山市健康体育課が実施。勝山市から、変更のお便りを出して周知を図る。 ・参加登録者が昨年と同じで、ポイント引き換え者は少し減少した。登録者平均年齢も高齢となり、活動がでしづらくなっている人も少しづつ増える傾向である。				

(1404)福祉育成・援助活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	福祉育成 援助活動事業	すこやかフェスタ	第1層(全市)
収入(円)	共同募金				計
	1,455,000				1,455,000
支出(円)	人件費	事業費	当期資金収支差額		計
	160,000	1,211,711	83,289		1,455,000
事業概要	すこやかフェスタの開催				

事業報告

[illegible]

R7振り返し

(1405)歳末たすけあい配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																																			
	法人運営事業	共同募金配分事業	歳末たすけあい配分金事業	歳末たすけあい配分金事業	第1層(全市)																																			
収入(円)	共同募金				計																																			
	1,892,910				1,892,910																																			
支出(円)	事業費	配分金事業	その他の活動支出	当期資金収支差額	計																																			
	340,184	1,360,000	3,184	189,542	1,892,910																																			
事業概要	民生委員に要援護世帯調査を依頼、準要保護世帯については教育委員会に協力要請を行い、対象となる援護を要する世帯から申請をもらい、個別配分の可否を委員会で審査、可世帯に対し個別配分を行う。その他の配分先は、「歳末たすけあい配分委員会」で検討、決定される																																							
事業報告	配分委員会【1回目】9月26日【2回目】11月27日																																							
	<table><tr><td></td><td>対象者</td><td>人数</td><td>金額</td><td>備考</td></tr><tr><td rowspan="2">個別配分</td><td>要援護世帯</td><td>129世帯</td><td>1,290,000</td><td>@10,000</td></tr><tr><td>還児</td><td>14名</td><td>70,000</td><td>図書券@5,000</td></tr><tr><td rowspan="4">事業費配分</td><td>地域福祉事業(モルック大会)</td><td></td><td>201,213</td><td>楽しみながら地域交流を図る</td></tr><tr><td>貸出機器管理・用品費</td><td></td><td>7,810</td><td>貸出機器修理費・付属品の購入等</td></tr><tr><td>事務経費及び広報費等</td><td></td><td>131,161</td><td>切手・封筒購入、広報費等</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td></td><td>1,700,184</td><td></td></tr></table>						対象者	人数	金額	備考	個別配分	要援護世帯	129世帯	1,290,000	@10,000	還児	14名	70,000	図書券@5,000	事業費配分	地域福祉事業(モルック大会)		201,213	楽しみながら地域交流を図る	貸出機器管理・用品費		7,810	貸出機器修理費・付属品の購入等	事務経費及び広報費等		131,161	切手・封筒購入、広報費等					合 計			1,700,184
	対象者	人数	金額	備考																																				
個別配分	要援護世帯	129世帯	1,290,000	@10,000																																				
	還児	14名	70,000	図書券@5,000																																				
事業費配分	地域福祉事業(モルック大会)		201,213	楽しみながら地域交流を図る																																				
	貸出機器管理・用品費		7,810	貸出機器修理費・付属品の購入等																																				
	事務経費及び広報費等		131,161	切手・封筒購入、広報費等																																				
合 計			1,700,184																																					
	【第2回モルック大会の様子】  																																							
R7振り返り	個別配分は要援護世帯1世帯につき10,000円を配布することができた。 個別配分は申請式だが、個人情報聞き取りしにくい時代となり十分な聞き取りができず民生委員の負担が大きいとの声があったため、個別配分の在り方について配分委員会で検討を行った。結果、例年通りとなったが、民生委員にも歳末助け合い募金の趣旨を何度も伝えていく必要があると感じた。今年度、申請様式を見直し、民生委員の所見をなくした。 楽しく地域交流を図る場として、「第2回モルック大会」を開催し盛況に終えることができた。 モルック大会、令和8年度は福祉育成・援助事業へ移行する。																																							

(1406)ボランティア活動育成事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	ボランティア活動育成事業	ボランティア活動育成事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期末支払資金残			計
	176,000	16,162			192,162
支出(円)	事業費	助成金			計
	142,162	50,000			192,162
事業概要	ボランティアセンター事業の一環。ボランティア活動者(登録者)等を対象にボランティア活動や地域の貢献について、学びの場の提供				
事業報告	●ボランティア団体交流会 本交流会は、近年参加者減少と、活動団体者の高齢化などからやむを得ず開催を断念することが続いている。今年度も交流会の開催は見送りとし、登録ボランティア団体(15団体)の代表者へ各団体の実情を知ることを中心に、活動状況調査アンケートを実施。 →アンケート結果から、各ボランティア団体は活動への意欲や充実感を持ちながらも、会員の高齢化や新規参加者の確保、活動機会の減少などの課題を抱えている回答だった。特に、若年層や働き世代への周知不足や参加のハードルの高さが課題として挙げられていた。				
	●ボランティア研修会『人生をアクティブに!! 選べるボランティア研修会』 R8年3月1日(日)42名(参加者26名、運営委員4名、講師4名、実践報告者3名、社協職員5名) 【内容】ボランティア活動も多様化しているため、テーマを1つに絞るより自分の興味のある分野に参加してもらえればと考え、今回は初めて分科会方式で開催。分科会終了後、参加者全員でドリンク交流会を実施した。 ○第1分科会…おもちゃ病院の開院を目指そう! 【講師】おくえつおもちゃ病院 会長 山内廣志氏、事務局 高村重美氏 ○第2分科会…第2の人生アクティブにいこう!! 【講師】オフィス・マインドルージュ 代表 藤田 由美子氏 ○第3分科会…居場所づくりのヒ・ケ・ツ 【講師】認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事 遠藤典子氏 周知方法:①令和8年1月末時点ボランティア活動保険登録者 928名に郵送 ②Instagram ③勝山市広報(2月12日発行分) ④他(まちなかcafe、サンプラザcafe、まちづくり会館、市内各小中学校、こども課、未来創造課から各課へ周知				
R7振り返り	ボランティア団体向けのアンケート結果から、ボランティアセンターには「つなぐ役割」や「見える化」「活動機会の創出」といったコーディネート機能の強化が求められているような回答だった。本アンケートを参考に、今後の支援方法は運営委員会で検討していく。 ボランティア研修会では、分科会に分かれての研修会だったが、選べる楽しさもあり、講師の先生もバラエティーに富んでおり、「どの分科会も聞きたかった」という声もあった。参加者のアンケートでは「3つの研修に分かれていて好きな研修に出れてよかった」や、「他の分科会のまとめを聞きたかった」という声もあった。もし、今後分科会を分かれてするような事があれば、そのような意見を参考に開催したい。				

(1407)法外・災害援護配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	法外・災害援護 配分金事業	法外・災害援護 配分金事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期末支払資金残			計
		54,244			54,244
支出(円)	助成金	当期資金収支差額			計
		54,244			54,244
事業概要	行路者・火災被災者へ、見舞金等を渡す				
事業報告	●行路者援助(来所する行路者に対し、電車賃・バス代程度を渡す):0件 ●火災見舞(市内の火災被災者に対する見舞金):0件				
R7振り返り	令和7年度、実績なし				

(1408)まちなかCafé事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	まちなかCafé運営事業	まちなかCafé運営事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期末支払資金残			計
	907,000				907,000
支出(円)	人件費	事業費	当期資金収支差額		計
	384,000	458,754	64,246		907,000
事業概要	社会的孤立感の解消及び誰もが気軽に立ち寄れる場所として、勝山サンプラザ内に居場所を設置し、運営する。また、社会福祉法人が実施する地域貢献事業としても位置付ける				
事業報告	・まちなかcafé運営委員会の開催 7/15				
	令和7年度 まちなかCafé利用者数				
		月	日数	総計	男性 女性 子供 高校生 中学生
	7年	4月	21	317	153 164 0 0 0
		5月	23	373	166 207 1 0 0
		6月	21	299	138 161 0 0 0
		7月	22	313	146 167 0 0 0
		8月	22	330	126 204 0 0 0
		9月	21	201	74 127 0 0 0
		10月	22	242	83 159 0 0 0
		11月	20	245	99 146 0 0 0
		12月	18	215	75 140 2 0 0
	8年	1月	20	215	75 140 0 0 0
		2月	20	290	99 191 3 0 0
		3月	21	296	101 195 0 0 0
				総計	男性 女性 子供 高校生 中学生
	1ヶ月平均	278	251	3,336	1,335 2,001 6 0 0
	 				
	・年間251日開店 延べ3,336名利用 ・ボランティア活動者 5名 ・ボランティア活動日: 月・水・金の午前、木の午後 ・1日を通してサン広場利用される方が多く、特にまちなかcaféの午後の利用者が年々減っていることもあり、運営委員会にて意見をもらい、8/18より営業時間を10:00～15:00に変更した				
R7振り返り	買物終わりの一休み、仕事終わりの寄り道、日中の居場所など利用者の生活リズムの一つになっていることが伺え、引き続き居心地の良い居場所づくりを行っていく。サンプラザ2階「サンカフェ」の活動が定着したことで、まちなかcaféの利用が若干減少した。 土曜日は平日は来られない方も来られ、休みの日の憩いの場として利用される方もおられる。 平日午後の利用が減少傾向にあり、今後の検討課題である。				

(1409)貸出事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分金事業	貸出事業	貸出事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	負担金	前期末支払資金残		計
	160,000	90,200	249,401		499,601
支出(円)	事業費	事務費	サービス区分間		計
	453,001	46,600			499,601
事業概要	車椅子対応の福祉車両の貸出、福祉用具、介護機器の貸し出しサービス				
事業報告	●乳幼児用品貸し出し事業 チャイルドシート(25件)ジュニアシート(5件)ベビーカー(1件)貸出 (昨年度 チャイルドシート(13件)ジュニアシート(1件)ベビーカー(0件)貸出)  チャイルドシート  ジュニアシート  ベビーカー ●リフト付き車両貸出事業 軽自動車(タント)55件 ワゴン車(ハイエース)51件 合計106件 ●介護機器貸し出し事業 〈物品貸し出し〉 車椅子 短期 33件、長期 10件、継続利用 16件 〈保有台数〉 車いす 51台、歩行器 1台 ●在宅障害者「ふれあいの部屋」・中途障害者「リラの会」開催時送迎支援  				
R7振り返り	・定期的な周知がされてきているのか、チャイルドシートの貸出は連休中は予約待ちになるほどだった。貸出件数も昨年と変わらずだった。車椅子も在庫が少なくなることがあったが、予約待ちはなかった。手すりが取れたり、故障が多くなってきている。				

(1410)福祉教育推進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分金事業	福祉教育推進事業	福祉教育推進事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	県社協受託金	参加費収入	前期末支払資金残	計
	645,000	100,000	3,400		748,400
支出(円)	事業費	事務費	助成金	当期資金収支差額	計
	237,923	22,400	390,000	98,077	748,400
事業概要	赤い羽根共同募金の配分と県社会福祉協議会の助成金を受け、市内小中学校の福祉教育に助成金を交付する。福祉教育推進に関する「福祉教育担当教諭研修会」の開催、小学校4年生(福祉を学ぶ学年)を対象とした「福祉学習交流会」の開催、全小中学校の訪問、各学校への「ゲストティーチャーの派遣」等に関する調整業務を行う。				
	●福祉教育担当教諭連絡会 小学校10校、中学校3校 それぞれ個別訪問し、福祉教育の取り組み説明や事例の紹介、勝山市地域ぐるみ福祉教育推進事業助成金の案内を行った。 ※勝山市地域ぐるみ福祉教育推進事業として、赤い羽根共同募金の配分を受け市内10小学校、3中学校へ助成金を配分した(1校30,000円) ●小中学校の授業やクラブ活動へ延べ114名のボランティア、保健師、保健推進員、ゲストティーチャー、地区社協コーディネーター、地域住民、保護者、職員等の協力のもと活動した ●学校との年間打ち合わせ回数 19回、年間授業・クラブ活動への支援回数 30回 依頼があった小中学校へ出向き、地域共生社会づくりに向けて取り組めるプログラムの打ち合わせを担当教諭と綿密に行った。 福祉の学習と高齢者理解のため、シニア体験、アイマスク、赤ちゃんお世話体験・妊婦体験等の疑似体験を行った。これらを通して「お互い様の関係づくり、人にやさしいまちづくり」を考えるきっかけとした。また、単発な学習ではなく、長期で取り組める内容になるよう、何度も打ち合わせを行い、1年間のストーリーを組み立てるよう学校や地域と連携して取り組んだ。 【内容抜粋】 ・妊婦、赤ちゃんお世話体験 ・シニア体験 ・ふれあいサロン見学 →見学後生徒主催サロン交流会開催 ・車いす体験 ・認知症サポーター養成講座 ・認知症VR体験 ・地域の方とチューリップの球根植え ●福祉教育担当教諭振り返りアンケート 福祉教育担当教諭に1年間の福祉教育を振り返るため、アンケートを実施した。アンケート結果は、次年度各学校個別訪問の際に資料としてお渡しし、活用していただく。				
R7振り返り	福祉担当教諭連絡会は各学校へ出向き個別に前年度の各学校の活動状況報告や紹介、今年度についての打ち合わせ等を行った。 学校により取り組む内容は様々だが、打ち合わせを密に行う事により、各学校の生徒や教諭の思いを聞き、学習のテーマや目的をもとに単発な学習ではなく、1年間通しての学習が組み立てられた学校が多かった。先生の異動により継続が難しかったが、異動先で福祉教育が再開されることはとても良かった。				

(1411)子育て世帯支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	子ども見守り宅食支援事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	その他の活動収入			計
	893,169	200,000			1,093,169
支出(円)	事業費	当期資金収支差額			計
	656,150	437,019			1,093,169
事業概要	共同募金配分金、勝山市母子寡婦福祉連合会からの指定寄付。 日常生活において困難を抱えている家庭や、経済的に困窮・孤立化を余儀なくされている家庭等を支援するためフードドライブに取り組む。				
事業報告	●ひとり親世帯への食料支援 主任児童委員の力を借り、ひとり親世帯や気がかりな世帯へ食材配布を通し聞き取りを実施 【1回目】 日時:12月19日(金)20日(土)22日(月)23日(火) いずれも10～12時/16～18時 来所:58世帯 食材:野菜、カレールー又はシチュールー、ラーメン袋麺、卵1パック、マヨネーズ 【2回目】 日時:3月9日(月)13日(金)16日(月)～19日(木) いずれも16～18時 来所:55世帯 食材:パスタ(乾麺)、パスタソース、カップスープ、卵1パック ※1、2回ともに、寄付でもらった日用品、衣類、お菓子、飲料等も自由に持って帰ってもらう				
	   ●フードドライブ 生活困窮者や、ひとり親世帯への継続的な支援を行うため、フードドライブを認知してもらい、地域・企業と連携して支援活動を行うため実施した。 受入日時:令和8年2月16日(月)～3月6日(金)【平日のみ】 受入場所:すこやか④入口 9:00～17:00 まちなかcafé(サンプラザ2階) 10:00～15:00 ※集まった食料は、2回目のひとり親世帯への食料支援で必要な世帯や、生活にお困りの方に必要時お渡しした。   				
R7振り返り	主任児童委員協力のもと、ひとり親世帯などの子育て世帯に対しての相談窓口として、「ひとり親世帯への食料支援」を実施。家族構成や聞き取り内容から、気がかりな家庭の把握を行い、必要に応じて困りごとの相談窓口へつなぐことが出来た。来られた方からは、「助かります」や、「話を聞いてもらい、すっきりした」と言って帰られる方もおられた。 食料支援をきっかけに、顔の見える関係づくりを図る。				

(1501)生活福祉資金貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	432,000				432,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	172,980	259,020			432,000
事業概要	低所得者や高齢者、障害者の自立した生活を経済的に支えるとともに、世帯の福祉及び社会参加の促進を図る				
事業報告	[生活福祉資金] ●貸付相談件数 7件(前年度 相談件数 8件) ※生活困窮者自立支援事業担当職員とも連携して相談に対応した ●新規貸付件数 0件 ●償還完了件数 0件(福祉費0件) ●延滞利子支払免除件数 0件 				
R7振り返り	生活福祉資金相談は住宅修繕(雪害・エアコン他)の相談があったが貸付には至らなかった。				

(1502)小口資金貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	償還金	受取利息	法人より		計
	166,780	693	3,000		170,473
支出(円)	事業費	貸付金	当期資金収支差額		計
	1,980	136,280	32,213		170,473
事業概要	当座の資金不足により生活が行き詰った方へ小口で一時資金を貸し付ける				
事業報告	延べ件数 ●貸付件数 11件 136,280円 ●返済金 21件 166,780円 ●貸付残のある方 6件 88,000円				
R7振り返り	貸付と償還を繰り返す方、給与日・年金日までの生活費が不足するなどの相談を受けた。相談内容によっては生活困窮者自立支援センター相談員と共に関わった。また、ふく福くらしサポート事業につないだ。 相談時には必ず「収支表を自ら記入する」ことをルール化し、相談者の収支に対し自らが「気づく」ことができるよう支援した。返済については丁寧な相談対応に努めた。併せて食料の現物配布支援なども実施し、少しでも相談者を支えられるよう、務めた。				

(1503)特例貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	3,250,000				3,250,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	3,043,820	206,180			3,250,000
事業概要	令和2年3月～令和4年9月まで行われた、コロナ特例貸付の償還が始まった。借受人に連絡をし生活状況の把握を行い、償還を促す。				
事業報告	フォローアップ支援 返済が始まり、借受人に対し連絡 訪問してもお会いすることが難しく、電話で生活状況の把握を行う。 償還を促し、振込用紙を送付。 支援内容 償還免除:0件 償還支払猶予:0件 償還手続き:0件 償還相談:1件 未応答または償還困難な借受人に対するアウトリーチ:11件 償還免除者に対するアウトリーチ:12件 借受人(償還免除者含む)の生活状況の把握:2件 生活再建に向けた支援制度・自立相談支援機関等関係機関へのつなぎ:12件 郵送不能者の現地状況確認:0件				
R7振り返り	借受人に対し、フォローアップ支援を行った。 借受人が他市町や県外に転出し移動がある。連絡を拒否され、状況把握が困難なことが多い。延滞者に対して振込用紙を送付し、返済を促すなどの対応を行った。				

(0601)生活困窮者自立支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立相談支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	12,000,000				12,000,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	その他の活動支出	計
	9,266,704	1,023,560	685,936	1,023,800	12,000,000
事業概要	生活困窮者支援法に基づき、生活に困っている人からの相談を受け、抱える課題を把握し、本人の気持ちに寄り添いながら自立した生活を支える。また、必要な人には計画を立てて支援を実施する。関係機関や市役所内の各部署の連携が図れるように働きかける。困窮世帯へ向けて緊急食糧支援を実施。				
事業報告	生活保護に至らないようにするために生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として、包括的に支援を実施した。また、生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークの構築、働く場を広げていくことに努めた ●必要なアセスメント、プラン兼事業等利用申込書(案)を本人と共同で作成、支援調整会議で支援内容について検討、評価を行いながら包括的・継続的な相談支援 ・新規相談 33件 ・相談件数 述べ293件 ・生活保護につないだケース 1件 ・必要時に貸付相談へつなぎ 小口福祉資金 2件 ・支援調整会議 12回(月1回) ・食糧配分多数 (福井県・県民生協・歳末助け合い募金備蓄食品) 県民生協フードドライブ食糧 ●広報・啓発事業の実施 ・社協広報誌「社協からこんにちは」R7.9月発行 ・令和7年度保護司会第3期地域別定例研修会 R8.2月12日(木)15:00～ 1名 ・県立大学実習生受け入れ 1名 ・福井大学医学部附属医学学科5年生地域包括ケア実習受入 7月2日(水)8名 ●関係機関との連携 ・奥越地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 5月26日 14:00～15:00 3名 ●相談員の研修 ・生活困窮者自立相談支援制度人材養成研修初任者研修(国研修)10月6日～7日 1名 ●令和7年度生活困窮者等食糧支援事業 ひとり親世帯への食料支援 2回実施(子育て世帯支援事業記載) 協力者:主任児童委員7名 勝山市こども課職員1名 ●生活困窮者への食糧支援				
R7振り返り	滞納や負債があり、ライフラインの支払いができない方には、立て直しの一助として「ふく福サポート事業」へつないだ。その後も継続的に支援を行った。また、就職活動の同行や年金相談など、生活基盤を整える手立てを一緒に考え支援を行った。 年度末には、電気代の高騰が家計を圧迫していると相談に来られる方が多かった。				



(0602)生活困窮者自立支援・就労準備支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	就労準備支援事業	就労準備支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,798,500				1,798,500
支出(円)	人件費	事業費	その他の活動支出		計
	1,412,561	222,439	163,500		1,798,500
事業概要	「社会との関わりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に6カ月から1年の間、プログラムにそって、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行う				
事業報告	自立相談支援機関のアセスメントに基づき、就労準備支援の必要性がある方が対象となる				
	●アセスメントを行い、就労準備支援プログラム作成、月1回程度の振り返り評価を行いながら1年を基本として実施。 ・支援内容:日常生活自立に関する支援 ・社会生活自立に関する支援 ・就労自立、就労後の定着に関する支援 ・他関係機関との連携など ・就労準備支援室を毎週金曜日 13～17時開設 利用実績3件 ●関係機関との連携 ・障害者支援センターとの連携 ・ハローワークとの連携				
R7振り返り	障害者雇用で就労していたがつまづいてしまった。就労準備支援で週1回、定期的に足を運ぶことから始めた。意欲はあるが、頑張りすぎて疲れてしまう、の繰り返しではあったが、徐々にペースをつかむことができた。障害福祉サービス利用を検討している。また、気持ちはあるが支援まではまだいらないという方もいる。				



(0603)生活困窮者自立支援・家計改善支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	家計改善支援事業	家計改善支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	4,500,000				4,500,000
支出(円)	人件費	事業費	その他の活動支出		計
	3,598,000	412,000	490,000		4,500,000
事業概要	自立相談支援機関において、経済的な問題に背景がある相談者に対して家計の視点から相談支援を行う。家計改善・家計再生プランを作成し、自ら家計を管理する意欲、能力を高め、経済的困窮より脱却できるよう支援していく				
事業報告	自立相談支援機関のアセスメントに基づき、家計改善の必要性があると支援調整会議で検討された方を相談対象とする。				
	●アセスメントを行い、家計再生プラン(案)を本人と共同で作成し、支援調整会議で支援内容について検討し支援決定を受け、約1年間を基本として相談を実施。 ・支援内容:家計計画表、キャッシュフロー表を作成し家計の見える化を行う 滞納(家賃、税金、公共料金など)の解消や各種給付制度利用に向けた支援 債務整理に関する支援(多重債務者相談窓口との連携) 貸付けのあっせん など ・家計再生プラン 9件 ●関係機関との連携 ・日常生活自立支援事業 制度紹介5件 ・ふく福サポート事業との連携 延べ10件 ・貸付(生活福祉資金・小口貸付)との連携				
R7振り返り	家計管理ができておらず、見える化から始めた。見える化することで、気づきを得る方もいたが、家計を把握していない方が多かった。 税滞納のある方には、市役所への同行などを行い、滞納解消へ向けての相談や助言を行った。 改善の一助として、ふく福サポート事業へつなぎ、生活再建を行い、継続的に相談支援を行った。 高齢・障害などで、管理が難しいという方には、日常生活自立支援事業の提案と説明を行った。				



(0701)生活支援体制整備事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	10,316,000				10,316,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	助成金	その他の活動支出
	1,387,000	688,560	12,480	8,220,000	7,960
					計
					10,316,000
事業概要	助け合う地域づくりに向け関係機関ネットワーク会議の開催、生活支援コーディネータの設置、地域の課題解決の場と新たなサービスを構築をする。併せて、まちなかCaféを核にした支援を考える				
事業報告	【1層(市全体)の生活支援コーディネーターの活動】 ▶一人暮らし高齢者、高齢者世帯の生活支援サービスのコーディネート ▶地域いきいきサポーター養成講座 7/22、11/18 ▶地域個別支援 520回 ▶第1層協議体の開催 ～小地域福祉活動計画作成～ 1回目12/11、2回目1/22、3回目2/26 参加団体:福祉課、市社協、市社協役員、地区社協会長・コーディネーター、各まちづくり会館長・職員、コミュニティセンター長 ▶関係機関とのネットワークづくり (1)勝山市総務課、福祉課、地域包括支援センター、民生委員児童委員、市内社会福祉法人、ケアブレイクかっちゃま、勝山高校、勝山南部中学校美術福祉部、サンプラザ (2)地域ケア個別会議への参画 年4回 ▶まちなかcaféの運営(21ページに掲載) ▶サンプラザcaféのボランティアスタッフ調整 活動延べ人数 5954人 ▶買物支援体制の構築 - 平泉寺地区 買物支援事業「お買い物にいこうよ!」の実施 - 村岡地区 買物支援事業「地域の人と一緒に買い物に行こう」の実施 - 遅羽地区 お試し買物支援事業実施 - 北郷地区 デマンドバスを使ってサンプラザへ買物支援 - 北谷地区 サロンで市外へ外出・買物 - 荒土地区 買物バスサロンの実施(年3回) ▶市社協主催研修会 - モルック大会の開催(11/24) - ボランティア研修会の開催(3/1)3分科会に分かれて研修 【2層(まちづくり会館単位)の生活支援コーディネーターとの連携した活動】 ▶ふれあいサロン、給食サービス ●地区ごとの研修等の開催 ・防災に関する研修(勝山、荒土、北郷、遅羽) ・地域で支える認知症に関する研修(村岡、北谷) ・移動支援について考える研修(野向) ・お互いに助け合い、暮らしやすいまちづくり研修(鹿谷) ・糖尿病講座(平泉寺) ・災害に関する研修(猪野瀬) ●生活支援ネットワーク会議の開催(地区社協コーディネーター連絡会) 年12回 【その他】 ・福井大学医学科 地域包括ケア実習受け入れ 7月2日 ・社会福祉士実習生の実習受け入れ 11月4日～11月14日、24日 ・コーディネーター研修会「シニア向けサービス付き分譲マンションと子ども向け施設 視察見学」 9月22日				
R7振り返り	小地域福祉活動計画作成にあたり、各地区の関係者を集め自分たちの地域の1～5年後の未来予想図(中長期計画)を立てた。各地区ごとにいろんな色があり、決まった内容はR8年度各地区地域住民に向け周知していく。 継続的にモルックが各地区で取り組まれ、市社協主催で大会を開催。2回目の開催だったが新たに今まで社協に関わりの薄かった世代がたくさん参加してくれた。				

(1601)老人ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	老人ホームヘルプ事業	第1層(全市)
収入(円)	市補助金収入	介護保険	利用料	県補助金	雑収入
	71,100	24,920,850	3,092,529	1,899,421	51,000
	その他の活動収入				計
	64,520				30,099,420
支出(円)	人件費	事業費	事務費	その他の活動支出	当期資金収支差額
	22,766,615	1,880,280	403,170	4,548,000	501,355
					計
					30,099,420
事業概要	介護保険法に基づく訪問介護事業の実施(家事援助、身体介護等)、並びに総合事業による要支援者への訪問介護を実施				
事業報告	要支援・要介護派遣数				
	年度	令和7年度 (要支援を含む)	令和6年度	令和5年度	令和4年度
	派遣利用者数	564人	487人	497人	438人
	派遣回数	5662回	4914回	5542回	5777回
	月	内容	月	内容	
	4月	令和7年度事業所事業説明	10月	障害研修(身体拘束・虐待について)	
		倫理要領と法令遵守・プライバシー・接遇研修	11月	研修報告(同行援護・排泄介助)排泄量体感実習	
	5月	感染症対策(嘔吐物処理)	12月	服務規定について、雇用契約の更新について、衛生用品について	
	6月	介護食づくり(調理済みの食事、食事の形態を変えてみよう)			
	7月	高齢者の火災予防について	1月	ケース検討会 手順書見直し	
	8月	認知症サポーター講座	2月	BCP研修(ケアマネと合同)	
			3月	1年振り返り、ヒヤリハット報告、個別目標の振り返り	
* 研修の際には伝達会議も併せて実施した ケア会議参加 121回 ミーティング27回(月1~2回) ※降雪が続き、利用していた駐車スペースが使用不能となったが、県(コンビニ)、市(公共施設)の働きかけでスムーズに駐車し、訪問することができた。					
R7振り返り	在宅生活の意欲があっても、機能低下や家庭環境により季節入所を定期的に利用する方が増えた。新規依頼後に、急遽、入院・入所などになり、訪問に繋がらなかったり、中止・終了となる事が多かった。冬季は、雪の警報などを確認しながら、事前に、出勤メンバーや人数・訪問時間変更などのシュミレーションを行ったため問題なくサービスの提供ができた。 訪問時の利用者の体調不良時などの対応に際し、改めて緊急連絡方法の再確認を行い、緊急連絡票の再作成、ケア会議時に関係機関と緊急時の連絡対応の共有を今後提案していけると良い。				

(1602)あんしんサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	あんしんサービス事業	第1層(全市)
収入(円)	事業収入	過年度修正	前期末支払資金残		計
	95,000		25,000		120,000
支出(円)	人件費				計
	120,000				120,000
事業概要	施設利用の方が一時帰宅されたとき、または、介護保険対象外の方や、障害サービスで認められていないサービスを希望される方に対して、30分1,000円でサービスを提供する				
事業報告					
	年度	令和7年度	令和6年度2	令和5年度	令和4年度
	派遣利用者数	10人	20人	21人	44人
	派遣回数	34回	59回	158回	338回
	支援内容 ペットの世話(介護計画に基づく) 衣替え 通院介助(介護保険報酬対象外の部分) 買い物支援(介護保険・食事形態変更でパウチ食の購入) 熊が出たため、利用者の方の不安への対応				
R7振り返り	障害福祉サービスにつながるまでの間の利用や、介護保険では対応外となるサービスについてあんしんサービスを提供した。急な入院時の入院準備や本人の生きがいであるペット世話、老夫婦世帯の衣類購入や衣替え、本人のみでは困難な掃除などの依頼に対し、本人等の意思を尊重し、サービスを提供した。本人の生きがいをサポートし続けることができた。				

(1701)介護予防支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲											
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	介護予防支援	予防ケアマネジメント	第1層(全市)											
収入(円)	介護保険	前期末支払資金残			計											
	489,360				489,360											
支出(円)	事業費				計											
	273,900	215,460			489,360											
事業概要	介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業に基づく予防ケアマネジメントの実施															
事業報告	・要介護認定において要支援1・2、事業対象者に対してケアマネジメントを実施した。															
	●介護予防件数実績 <table><tr><td></td><td>令和7年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>介護予防支援</td><td>104</td><td>166</td></tr><tr><td>介護予防ケアマネジメント</td><td>3</td><td>29</td></tr><tr><td>* 初回加算</td><td>4</td><td>4</td></tr></table> ・委託費 4,420円/件 (R6年4,380円) 初回加算 3,000円/件						令和7年度	令和6年度	介護予防支援	104	166	介護予防ケアマネジメント	3	29	* 初回加算	4
	令和7年度	令和6年度														
介護予防支援	104	166														
介護予防ケアマネジメント	3	29														
* 初回加算	4	4														
R7振り返り	・令和7年度は介護支援専門員4名体制で対応した。継続ケースと新規で対応件数は4件あり、月平均8～9件を維持した。															

(1702)介護給付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																		
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	介護給付	介護給付	第1層(全市)																		
収入(円)	市補助金収入	介護保険	補助金	その他の活動収入	計																		
		21,646,760	295,716	158,850	22,101,326																		
支出(円)	人件費	事業費	事務費	その他の活動支出	当期資金収支差額																		
	15,362,604	2,230,521	164,391	4,024,000	319,810																		
					計																		
					22,101,326																		
事業概要	介護保険法に基づき、利用者が、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の選択に基づき、適切な居宅介護支援サービスを提供する																						
事業報告	●介護支援専門員 4名(専従2名、兼務2名) ●主任介護支援専門員 2名 ●法定研修 ・BCP研修(ヘルパー合同) 2/19 4名、 机上訓練 9/5、10/5、11/5 ・感染症対策について(ヘルパー合同) 5/22 2名、(JCHO居宅主催)12/12 4名 ・虐待研修(ヘルパー合同) 10/23 3名 ●居宅介護支援費 <table><tr><td></td><td>年間計画数</td><td>要介護1・2</td></tr><tr><td></td><td></td><td>要介護3・4・5</td></tr><tr><td>R6年度</td><td>1,173</td><td>882</td></tr><tr><td></td><td></td><td>291</td></tr><tr><td>R7年度</td><td>1,220</td><td>889</td></tr><tr><td></td><td></td><td>331</td></tr></table> 居宅介護支援費 要介護1～2 10,860円/件 要介護3～5 14,110円/件 ●特定事業所加算(Ⅱ)4210円/件 ・24時間連絡体制 ・毎週ケアマネミーティング開催 ・高齢者以外の対象者への支援に関する知識等に関する事例検討会、研修会(障害者、生活困窮、精神疾患、医療的ケア児、多問題) 計17回 26名参加 ・他法人居宅介護支援事業所合同勉強会 6/13(すこやか)3名、8/7(すこやか)4名、10/17(すこやか)4名、12/12(JCHO会議室)4名 ●研修・会議参加 ・地域ケア個別会議 3/4 1名(事例提供) ・事例相談会 10/17 2名、1/19 1名、3/19 3名、 ・多職種連携研修 3/4 2名 ・災害対応研修「避難所の課題分析」奥越健康福祉センター 6/6 1名 ・奥越ケアマネ連絡会 総会、第1回交流会 結とぴあ 5/17 2名(自主参加) 研修会 結とぴあ 9/27 1名(自主参加) ・県ケアマネ協会 令和7年度通常総会・研修会 5/31 サンドーム 1名(自主参加) ・日本ケアマネ協会「介護保険制度改正に関する説明会」(オンライン) 3/27 3名 他 多数参加 ●奥越ケアマネ連絡会運営委員会 運営委員として参画 5/17、8/8、9/27、3/10						年間計画数	要介護1・2			要介護3・4・5	R6年度	1,173	882			291	R7年度	1,220	889			331
		年間計画数	要介護1・2																				
		要介護3・4・5																					
R6年度	1,173	882																					
		291																					
R7年度	1,220	889																					
		331																					
R7振り返り	・介護支援専門員1名増員にて4名体制で事業を実施。特定事業所加算Ⅱ(1件4210円/月)を算定したため、毎週ミーティングの実施や他分野の研修や事例検討会へ参加、地域包括支援センターからの困難事例の受け入れを行うなど、質の高いケアマネジメントを実施した。加算算定により、一定の事業収入を確保でき、おおむね安定した運営ができた。担当件数上限はあるが、今後も新規受け入れを行い、収益性向上、経営基盤の強化を図る。																						

(1703)要介護認定調査事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲												
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	要介護認定調査事業	要介護認定調査	第1層(全市)												
収入(円)	介護保険受託				計												
	135,300				135,300												
支出(円)	事業費	当期資金収支差額			計												
		135,300			135,300												
事業概要	介護保険法に基づき、要介護認定調査対象者を調査し、市へ調査票を提出する																
事業報告	●介護認定調査件数41件(前年比-10件)																
	<table><tr><td></td><td>令和7年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>在宅 (3,300円)</td><td>41</td><td>51</td></tr><tr><td>施設 (2,200円)</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>41</td><td>51</td></tr></table>						令和7年度	令和6年度	在宅 (3,300円)	41	51	施設 (2,200円)	0	0	計	41	51
		令和7年度	令和6年度														
	在宅 (3,300円)	41	51														
施設 (2,200円)	0	0															
計	41	51															
R7振り返り	・認定期間1～4年に設定され、委託件数は年度ごとにばらつきがある。また、状態変化による区分変更を行うケースも一定数あり、委託が実施する場合もあった。																

(1801)身体障害者ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害福祉サービス事業	障害福祉サービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	第1層(全市)
収入(円)	自立支援給付費	利用料	補助金	受託金	その他の活動収入
	16,730,737	212,370	284,644	302,970	1,788
	前期末支払資金残				計
	2,191,065				19,723,574
支出(円)	人件費	事業費	事務費	その他の活動支出	当期資金収支差額
	17,781,799	994,985	157,790	789,000	
					計
					19,723,574
事業概要	障害者総合支援法に基づく、訪問介護事業(居宅介護サービス、強度行動援護、同行援護、移動支援)				
事業報告					
		令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
	利用延べ人数	389名	366名	307名	276名
	延べ訪問総数	4015回	4238回	2568回	3797回
	通院等介護	97回	同行援護	44回	
	移動支援	52回	重度訪問介護	0回	
	ケア会議 104回 ミーティング17回 サービス提供者会議12回				
R7振り返り	例年の暑さ、寒さにおいては、利用者の生活状況を考えて、ショートスティ利用を調整するケースが目立った。利用者の高齢化に伴い、病院受診の増加や病状把握の難しさが見えた。家族や各関係機関との情報共有の重要性を改めて認識した。障害や病状の特性、障がい状況を把握し、個々に応じた支援内容の検討、提供を行ってきた。ヘルパーと利用者の関係性には、個人差があり、相性やコミュニケーションの取り方によって、受け止め方が違うためヘルパーの配置についても配慮した。気候、高齢化で体調変化や緊急時の対応について、連絡先を明確に提示し、速やかに対応できるよう整えることができた。				

(1802)障害者計画・相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者計画相談支援	計画相談支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市補助金	自立支援給付	障害児給付	認定調査料	補助金
		3,591,030	1,078,100	146,130	191,507
	前期末支払資金残				計
	77,111				5,083,878
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	4,569,600	447,996	66,282		5,083,878
事業概要	障害児・者の自立した生活を支え、課題解決やサービス利用のケアマネジメントを行う				
事業報告	計画相談支援・障害児相談支援は、13年目。昨年同様に相談支援専門員(兼務者)4名体制で対象者のプラン作成、障害程度区分調査(委託)を行った				
	居宅介護支援事業連携加算 1件				
	相談支援給付費 入院時情報加算7件				
	[計画作成]	令和7年度	令和6年度	集中加算(同行他)18件	
	障害者	53件	68件	医療・保育・教育機関連携加算(会議)5件	
	障害児	20件	29件	初回加算 1件	
	サービス担当者会議実施加算 8件				
	サービス提供時モニタリング加算 12件				
	[モニタリング]	令和7年度	令和6年度	認定調査委託25件 (前年度 25件)	
	障害者	168件	159件	単価	
	障害児	35件	20件	1件 5千円～6.9千円	
R7振り返り	住み慣れた地域で福祉サービスを使いながら、生活が送れるように本人・家族の思いに添い、支援を行った。また、高齢になり介護保険への移行の検討を始めたケースが多くなった。				

(1901)障害者相談支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者相談支援事業	障害者生活支援センター事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金	前期末支払資金残			計
	5,181,000	3			5,181,003
支出(円)	人件費	事業費	事務費	その他の活動支出	計
	4,606,000	67,820	483,340	23,843	5,181,003
事業概要	障害を持つ方が地域で暮らし続けることを目的に適切な相談と支援を行う。また、奥越障害者自立支援協議会の運営に参画し、新たな資源の開発等を行う				
事業報告	●相談 訪問・同行153件 来所相談262件 電話相談331件 関係機関との相談・調整369件 ケア会議16件 ・勝山ケース連絡会 月1回(第3水曜日) ・奥越圏域就労支援連絡会 12回/年 開催 ・奥越地区障害者自立支援協議会 全体会 2回 運営会議11回 専門部会6回 ・部会内容 (i)発達障害・教育支援部会 2回 (ii)生活・居住支援部会 2回 (iii)日中活動・就労支援部会 2回 ・相談支援連絡会 年12回(行動援護サポート ワーキングチーム 年1回) ・ピアカウンセリング 年24回 ●委託相談支援事業(i)福井県自立支援協議会に参画 「障害者生活支援センター」のパンフレット 				
R7振り返り	行政や、他の相談員との情報共有を図るため、毎月連絡会を開催できた。ハローワークとも毎月ケース連絡会を開催。情報の共有ができた。生活困窮や日常自立支援事業との連携が今年度は多かった。 支援内容は、本人だけでなく家族やその背景なども踏まえながら、表面だけの支援にならないよう考慮し、支援を組み立て、対応することができた。また、支援が終了しても、定期的に連絡することで、関係を切らないよう努めた。				

(1902)障害者社会参加促進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者社会参加促進事業	障害者社会参加促進事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金	参加費収入			計
	300,000	11,000			311,000
支出(円)	事業費				計
	311,000				311,000
事業概要	地域の中で障害を持つ方が生活しやすいように社会参加を促進する事業の展開と、家族や関係機関・地域での障害理解が進み、権利擁護できるように事業を通じて働きかける				
事業報告	・5/10 体操とモルック教室 参加者18名(うち関係者4名) 講師:パワーリンク 漆崎氏 ・8/9 交通安全について 参加者19名(うち関係者3名) 講師:勝山警察署 交通安全課 ・11/29 オリジナルケーキ作り 参加者23名(うち関係者4名) ・たまり場café 毎週2回(月・水)13:00~17:00 91日開催 延べ利用者数146名 ・ITサポート相談 随時対応 ・当事者の会の育成 中途障害者「リラの会」、在宅障害者「ふれあいの部屋」支援 ・障害者生活支援センターホームページの運営管理 http://www.katuyama-sk.jp				
R7振り返り	「たまり場café」の利用者は、毎回楽しみに利用される方もいるが、見学に来られた方も数名いた。 正しいラジオ体操を教わり、手の握り方や伸ばし方を改めて実践すると筋肉に動き方が違うと参加者が喜んでいて、R8年度から自転車の交通安全で青切符(交通反則切符制度)が始まるため、事前学習をした。オリジナルロールケーキを作りゲームを行い、早めのクリスマスに参加者は喜んでいて。				

(2100)勝山市社協成年後見センター「ささえ愛」事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	成年後見事業	勝山市社協 法人後見事業	サポートセンター 「ささえ愛」	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	事業収入	受取利息	雑収入	前期末支払資金残
	150,000	2,682,000	6,400	13,011	2,403,771
					計
					5,255,182
支出(円)	人件費	事業費	事務費	その他の活動支出	計
	4,778,101	215,799	23,282	238,000	5,255,182
事業概要	何かしら障害があっても、自分の地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らしていくための相談・支援				
事業報告	●新規受任件数 0件 ●終了件数 0件 現在10件(高齢3件、障害7件) ●相談延件数 3件 ●専門相談件数(司法書士) 延1件 ●運営委員会 1回開催 R8年3/11 				
R7振り返り	在宅で1人暮らしの障害の方が高齢になり、このまま在宅生活が継続できるかどうかなど人生の岐路となる会議が増えた。 状況に応じて親族に連絡し、相談しながら支援した。 日常生活自立支援事業からの移行ケースがある場合は、運営委員会をきちんと開催し、審議していただいている。				

(2200)社協喫茶経営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	喫茶会計	喫茶会計	喫茶経営	第1層(全市)
収入(円)	売上金	受取利息	運用資産取崩し	前期末支払資金残	計
	1,723,771	3,072	591,000	47,022	2,364,865
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	1,139,098	1,212,117	13,650		2,364,865

事業概要	福祉健康センター「すこやか」利用者や地域住民の憩いの場として、創意工夫を重ね飲食の提供を行い、公益事業として経営の安定を図る				
------	--	--	--	--	--

事業報告

営業時間:月～金 9:30～14:00

営業中の風景

3番入口外看板

[メニュー]

《飲物・サラダ・一品》		《サイドメニュー》	
コ－ヒ－	350円	プチ焼肉(サラダ添え)	400円
〃 (持ち帰り用紙カップ)	200円	野菜炒め	400円
アイスコーヒー(夏季限定)	350円	〃 (ごはん付)	530円
〃 (持ち帰り用紙カップ)	200円	〃 (ごはん+目玉焼き)	600円
紅 茶	300円	ごはん	150円
サ ラ ダ	150円	〃 (小)	100円
ミニサラダ	80円	焼きおにぎり	150円
本日の一品	150円	目玉焼き(サラダ添え)	150円
ス－プ(冬季限定)	150円	ゆでたまご	80円

《 軽 食 》

トースト	250円	カレーライス	550円
ホットサンド	420円	カレーピラフ	550円
焼きそば	580円	エビピラフ	550円
焼きうどん	580円	焼 き め し	550円
うどん	420円	玉 子 丼	550円
たぬきうどん	420円	豚 丼	550円
きつねうどん	470円		
玉子うどん	480円	冷やし中華(季節物)	600円
カレーうどん	600円	サラダうどん(季節物)	600円
ナポリタン	600円	鍋焼きうどん(季節物)	650円

R7振り返り	検討委員会を3回行う。企業診断士のアドバイスをもらい、原価を調べ原価率を出したり、なにがどれだけ売れたか集計をとった。きちんと社協喫茶が何のためにあるのか方針を決める時期にきた。
--------	---

〇〇事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	法人運営	法人運営	法人運営全般	第1層
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	その他()	介護給付
事業概要					
事業計画					
事業目標					
見込み成果					
課題					
振り返り					

〇〇事業() ()

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	地区社協活動事業	地区社協事業	第3層(地区社協)
	法人運営	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業		
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	その他()	介護給付
事業概要					
事業計画					
事業目標					
見込み成果					
課題					